子どもに夢を!たくましく豊かな創造性を!

2017年1月15日

第8号

すくらんぶる

最新情報

2017. 1. 15 第19回長崎県子どもと 文化フェスティバル in 諫早

2. 23 代表者会 組織運営学習会

♪今年のぼたんは よいぼたん お耳をからげて すっぽんぽん もひとつおまけに すっぽんぽん♪

NPO 法人 長崎県子ども劇場連絡会 NEWS LETTER

(公財)県民ボランティア振興基金支援事業

乳幼児のためのコミュニケーション事業

わらべうたであそぼう

講師 大沢愛さん (NPO法人表現活動研究所代表理事・表現教育家) 2016年11月15日~17日

県民ボランティア振興基金の助成を受けて諫早、長崎、佐世保の3ケ所で乳幼児親子むけのワークショップ「うたとおはなしのじかん」、諫早、佐世保の二か所で大人対象の「わらべうた講座」を開催しました。この事業は、わらべうたを通じて子どもと親が楽しみながら、子どもたちの表現を受よいめ、親子でコミュニケーションすると、地大きを実感する時間を体験することと、地域の人たちが子育て中の人達と共感共できるスキルを学ぶことが目的です。

「うたとおはなしのじかん」は日本の各地に伝わるわらべ唄あそびを、身体のあっちこっちや、お手玉や美しい柔らかな絹の布も使ったりして楽しく遊びました。親と子がじっくりと目と目を合わせてゆったりとした時間を過ごすことの大切さを実感することができました。

大人対象の「大人のためのわらべうた 講座」は、大人が本気で遊ぶことと、子 どもにあそびを返すことがテーマ。わら べうたの原点は、目を見ることからはじ まり、共鳴し合うことで信頼関係を築く ことや動作を通して気持ちを伝えるコミ ュニケーションのやりとりがあったり、 体の機能の確認や、健康状態を見るなど心と体を育てるという知恵があることを知りました。小さい子どもだけのあそびではなく、あきらめない気持ちを育て、心を通わせ、やる気をひきおこし集団であそぶ力につながっていくという中学生ぐらいまで楽しめるわらべ唄があることにも驚きました。季節のあらゆるもの、動物や植物など自然に語りかける唄や暮らしの中にある心にしみる唄など、生命の尊さや、感受性を育てるわらべ唄。大人たちが本気で遊び、そして学ぶことができた講座でした。



♪ ○ ちゃん こんにちは おひとついかがです♪

参加者の感想より

- 参知らないうたや遊びをたくさん知ることができて楽しかったです!歌詞の言葉や言い回しも面白いなと思いました。自分の子育てに自信がなくなることもあるけど、目を見て歌う、というだけで息子もとっても嬉しそうだし、自分の気持ちも落ち着くし、親と子どちらにも良い効果があるな~とわらべうたパワーの偉大さを感じました。どれも楽しかったけど、既に忘れてしまっている歌もあるので、それぞれが覚えている歌を歌う、それを聞いてまた思い出す、レパートリーが増えるということも期待しています。
- 参あっという間の2時間でした。生まれたばかりの赤ちゃんと視線を合わせることからはじまるわらべうた。語りかけ唄いかけのやりとりの中で親子の愛着心の土台が育まれるのだと改めて感じました。見てまねて自分でやるまで「まつ」ことの大切さ、それが子どもにとっての力になっていくことを心において小さな子どもたちとの関わりの中で、又、親の皆様に少しでも伝えていきたいと思いました。あそびの中で子どもは育つことの再確認でした。

遊ぶことは表現だ!だよね・・・ちょっと稽古しようか(汗)



みんなの知恵とアイデアがいっぱい「ねずみくんのチョッキ」



小さくったって大丈夫!お姉ちゃんたちが優しく教えてくれる



<u>創作劇に挑戦!遊びながらの練習は重ねるごとに主体的に</u>

第19回長崎県子どもと文化フェスティバル なにかやろうやろうよ!in いさはや

キーワードは「交流」「表現」「過程」

長崎県子どもと文化フェスティバルは、子どもたちが表現する楽しさや仲間と創り合う面白さ・大切さを知ってほしいと毎年開催しています。19回を迎えた今年は諫早子ども劇場の40周年を記念して諫早開催となりました。19回の継続の中でここ数年は県内の青年たちが主体の実行委員会をつくり、運営の大人と共におよそ1年をかけて丁寧な取り組みをしています。実行委員会の様子と1月15日に向けた各地の様子を聞きました。

今年の実行委員会では、県フェスへの思いや取り組む上で大事にしたい事、子どもたちとどんな関わりをしていきたいかを、あらためて一人一人言葉にすることからスタートしました。その中で出された「交流」「表現」「過程」のキーワードを各劇場に持ち帰って話すこともしました。実行委員長の西岡恭兵くんは「県フェスは"それぞれ違う年齢が一緒に楽しめる魅力的な場"。自分も難しい実行委員長の役をみんなに支えてもらってやってきた。自分のままで受け入れてもらえるのが子ども劇場。それを活かした表現の場にしたい」と語ってくれました。

そんな思いを胸に各地で練習を重ねてきました。ながさ き・高学年は昔話をアレンジしたオリジナル短編劇。 青年が 子どもたちと遊び合う中で表現を否定せず一人一人を大切 にする関わりに心がけています。しかし毎回葛藤の連続。 青年たちの焦りとは裏腹に子どもたちは元気いっぱいだそ うです。昨年の開催地だった佐世保では、多くの会員が県 フェスの良さを体験することができたことで今年は早くか ら劇をやりたいとの声が上がり、5月の鑑賞例会「ねずみ くんのチョッキ」をすることになりました。絵本をもとに 衣装や背景も自分たちで工夫し動きも考えました。特に「チ ョッキ」はみんなの知恵とアイデアの結集です。裏方という 役割の大切さも実感できた劇づくりでした。開催地・諫早が 初挑戦する創作劇の原案は小学5年生。年長からの異年齢 で遊びながらの楽しい練習は回を重ねる毎に自分たちで創 ろうという姿に変わっていきました。子どもたちの平和へ のメッセージが伝わる劇に仕上がっているそうです。はさ みでは、6人中1人の幼児が初出演。高学年がリコーダー で参加しピアニカの演奏に挑戦します。練習は異年齢で和 気あいあいとした雰囲気。お姉ちゃんから優しく教えても らったり、休憩中はおもいっきり遊んだりしながら当日の 発表や事後交流会を楽しみにしています。

表現活動は自分を発見し創り合う中でお互いを認め合うことを学びます。また、表現を受け止めてもらえた時、その喜びは自信にもつながっていきます。今年はどんな出会いがあり、ドキドキがあり、自分たちが目指した「交流」「表現」「過程」はどうだったか。決して大人が教えることのできない経験の中での成長を楽しみに当日を見守りたいと思います。



その2

長崎県子ども劇場連絡会では「子どもの権利条約31条(休息・余暇・遊び、文化的・芸術的生活への参加)の実現を目指す」という方針をかかげています。このコーナーは子どもの権利条約の精神や、子どもの権利とはなにか、「子どもの権利」について様々な文献を参考にしながら学んでいきます。

子どもの権利条約の子ども観

子どもの権利条約が成立するまで、子どもの生存と発育を保護するためのたくさんの国々で施策の歴史があります。戦争の惨禍から生まれたこともあり、それは弱きもの、被害者としての子どもを保護し救済しようという発想のものが多くありました。さらには、大人の考える"望ましくない子ども"から現実の大人社会を守ろうというものまであります。子どもの立場に立って、大人社会のあり方を変えようという意図は消極的でした。

権利を行使する主人公として子どもを見直すことを目指したのが「子どもの権利条約」です。子どもの可能性、「明日の大人」に、未来の創造を託するとともに、大人たちに対しては「子ども性」にかえって、大人と子どもを隔てる壁をなくし、社会を共につくるパートナーシップが求められています。

子どもの権利とは

権利というと最近では大分理解がすすんできましたが、権勢と利益や権力をイメージしたり、今の秩序のもとで、上から一方的に下りてくる義務をあげたりして、子どもに権利などとんでもないなどという人がいます。「子どもの権利条約」の権利はオール・ライトとかユーアーライト(あなたのおっしゃることはもっともだ)のライト(rights)が訳されたものです。権利(ライト)の本当の意味は、公正な要求、社会の人々が「もっとも」「あたりまえ」「すじがとおっている」と認め合った道理にもとづいて要求できることです。権利の行使とは道理に自ら納得し勇気をもってものを言い、行動することをいうのです。力ずくで何かを要求したり、他人に強要したりするということとは全く無関係です。「子どもの権利条約」は、大人と子どもがこれからは道理にしたがって。正しいつきあいの仕方を求めて行動しようという申し合わせと考えるべきなのです。

参考文献(大田堯著 「子どもの権利条約を読み解く」岩波書店)

子ども劇場 舞台鑑賞情報

★参加方法などについては各地の子ども劇場事務局までお問い合わせください。

創作歌舞伎「牛若丸」前進座(歌舞伎)

2月11日(土)18時開演

波佐見町総合文化会館大ホール 主催:波佐見町教育委員会 共催:はさみ子ども劇場 入場料:一般 3,000 円、中学生以下 1,000 円、

高校生 1,500 円、親子 3,500 円 ※3 歳以下無料 ※当日券は 500 円増し

2月12日(日)15時30分開演

諫早文化会館大ホール 主催: 諫早文化会館芸術鑑賞会 入場料: 親子ペア3,500 円、大人2,500 円、 小人1,500 円(4歳~高校生)

あざみ寄席

4月29日(土)19時開演

諫早文化会館展示室 主催:諫早子ども劇場

ねずみくんのチョッキ

人形劇団プーク(人形劇)

5月20日(土)18時30分開演 アルカスSASEBOイベントホール

主催:佐世保子ども劇場

5月23日(火)19時開演

諫早早文化会館展示室 主催:諫早子ども劇場

5月27日(土)14時開演

チトセピアホール 主催:ながさき子ども劇場

5月29日(月)19時開演

壱岐の島ホール 主催: 壱岐子ども劇場

ひとりぼっちの白い子ラクダ

劇団そらのゆめ(舞台劇)

5月26日(金)19時開演

メルカつきまち 主催:ながさき子ども劇場



ねずみくんのチョッキ

NPO 法人 長崎県子ども劇場連絡会

〒850-0057 長崎市大黒町 4-26 北村第一ビル 302 号室 TEL: 095-825-0533 FAX: 095-825-6151 E-MAIL: n.kogeki@alto.ocn.ne.jp

県内子ども劇場

ながさき子ども劇場 TEL: 095-825-0533

佐世保子ども劇場 TEL: 0956-22-6747

諫早子ども劇場 TEL: 0957-23-5689

壱岐子ども劇場 TEL: 0920-44-5010

はさみ子ども劇場 TEL: 0956-85-4273

> Web サイト URL:

http://www.nakogeki.sa kura.ne.ip/

発行

NPO 法人長崎県子ども劇場連絡会

★編集後記★

「わらべうたであそぼう」事 業では、赤ちゃんが動作を通し て気持ちを伝えるというコミュ ニケーションの一歩を学んだ。 今の時代、問題が起こらないよ うに「いいね!いいね!」と協 調したり「私も一緒!」と同化 したりすることが、コミュニケ ーションカと思われている? 「勇気をもって反対意見を発言 し、議論する力も大切。そのた めには、人の話に耳を傾け、相 手を納得させる論理的思考や説 得力、人間関係の構築も必要」 千葉商科大学中村聡宏専任講師 の社会に出る前に、学生に向け た「自主的に行動できる人に」 の中の一文である。経験を積ま ないと難しい事だ。大人たちは 子どもたちに、意見の言える場 や議論の場をつくることができ ているのだろうか。(N)

第19回長崎県子どもと文化フェスティバル

なにかやろうよ!in いさはや

子どもたちが表現する楽しさや仲間と創り合う 面白さ、大切さを知ってほしいと毎年開催してい ます。表現活動は、表現のやりとりの中で、新しい 自分の発見や互いを認め合い尊重し合うことに つながります。

ステージに広がるひとりひとりの輝きを

応援しましょう!一緒に楽しみましょう!

1月15日(日) 13:00~16:00

(開場/12:45)

諫早文化会館中ホール

参加費:499円(4歳以上)



团体概要

子どもの豊かな成長と地域の子ども文化芸術振興に寄与することを目的に 2003 年に NPO 法人として活動を開始しました。

長崎県内にある5つの子ども劇場や、子どもに関わる団体や個人の方とのつなが りを大切にしながら、地域の文化活動を支援しています。「長崎県子ども舞台芸術 祭典」、「長崎県子どもと文化フェスティバル」、講演会や学習会などの事業を行 っています。

子どもに夢を!たくましく豊かな創造性を! 私たちは子どもの文化を応援します。

長崎角煮まんじゅう



肾岩崎本舖

一般財団法人 長崎ロープウェイ・水族館



立石產婦人科医院

諫早市栄町 7-6 TEL0957-22-0292

〒854-0072 諫早市永昌町43-6

医療法人 マツオ内科クリニック

TEL 0957-25-2225 FAX 0957-25-2220

佐世保の中心、ビジネス&観光に。

セントラルホテル佐世保



〒857-0872 佐世保市上京町3番2号

00 0120-69-0511

タイハツタチバナ

〒854-0126 陳早市松里町288 TEL 23-5318 FAX 24-1378

ホテル周辺にはコンビニ・飲食店街あり。 全客室ネット接続無料! 有線 LAN・Wi-Fi 回線完備



2 095-895-5774 JR 長崎駅より徒歩 3 分 http://www.wingport.com

ホテルジャノメ

諫早市永昌東町 1-39 [JR 諫早駅前] TEL.0957-22-0529 FAX.0957-22-3181